

当院代謝内科を受診された患者さんへ

当院代謝内科では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等について個人情報の保護には十分に配慮致しますが、研究目的の利用を希望しない場合は、下記の問い合わせ先へお問い合わせ下さい。

「摂食不安定且つ DPP4 阻害薬使用下にも血糖管理目標未達例へのイメグリミン使用に関する研究」

摂食が不安定な方の場合、低血糖などの副作用の心配なく使用できる糖尿病の薬は限られます。DPP4 阻害薬が唯一安全に継続使用可能ですが、これを使ってなお血糖管理目標(食後2時間血糖 180 mg/dl)が達成されない方へ、イメグリミン(商品名ツイーグ)という薬剤が適すると想定されます。しかしまだデータはありませんので摂食不安定で DPP4 阻害薬を使用してなお血糖管理目標未達例を対象に本研究を立案しました。

代謝内科診療中の入院中の摂食不安定の方へまず DPP4 阻害薬処方し、なお血糖管理目標未達成の場合イメグリミン(商品名ツイーグ)を 2000 mg/日追加します。その後血糖管理目標が達成されたら DPP4 阻害薬を中止して処方簡略化の上イメグリミン単独の血糖管理状況の観察へ、またイメグリミンを追加しても血糖管理目標未達成の場合はインスリン療法を提案します。

また通常診療で得られる臨床背景(年齢、性、糖尿病罹病期間、肥満度など)からイメグリミン有効例を特徴づける項目について検討、もし採択される因子があればその予知指標としての有用性についても解析します。

上記について来年の日本糖尿病学会年次学術集会で発表しようと考えていますのでご協力をお願いします。

本申請承認後、演題提出締め切り(本年11月末頃)迄が研究期間になります。

秋田赤十字病院 第一代謝内科 部長 氏名 後藤 尚

ご連絡先 〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1

秋田赤十字病院 代謝内科

電話:018-829-5000(fax: 5215)

用語解説

DPP4 阻害薬 ～ 糖尿病の血糖管理についての治療薬の一つ。本剤だけの投与で低血糖は起こらず、また他の副作用発生への配慮もこれまでのあらゆる薬剤のうちで最も少なく済む薬剤。

イメグリミン ～ 商品名はツイーグ。DPP4 阻害薬同様にこの薬剤だけの投与で低血糖は起こらず、また他の副作用発生への配慮も最も少なく済む薬剤の一つ。血糖を下げる作用は DPP4 阻害薬とは異なるので併用の意義は認められています。